



読めない瞳の彼女は

黒に染まる

僕は幼い頃から
変な性癖を持っていた

攻めよりも受け：
SよりもM：

そして
寝取られ：

そんな趣味が彼女に
ばれてしまった

ね…ねえ…
これってさ…



た…ただの
オナネタだよ…
フィクション…
ごめんね…
こんなの見せて



この女の子は堇(すみれ)
幼い頃から付き合っている
幼馴染で僕の彼女だ

してあげようか？

ふん…
こんな風に
黒人に彼女
奪われるのが
好きなんだ…



あ…いやその…
ちよつとスマイレ
何言ってるの…？



え…？

ん？…こういうの
好きなんでしょ？
君のためなら
まあ…
やってあげても
いいかな…って

スマレって昔から
変なところで
行動力あるよな…

背高…!!
何cmあるんだ?

ねえ…
大丈夫なの?

僕のために
スマレがここまで
する必要ないよ…
本当に…

う…ん

Sup man~!

あ…
初めまして

…何が?

うん 大丈夫だよ
君に喜んでほしくて
やってるんだから
本当に

えーっと
マイケルさん…
だったかな?
なんでもいいけど
Xで探したの
ほら挨拶

断れなかった…
憧れていたシチュが
現実になるかもしれない
言い表せない熱が
僕の体を包み込んだ

フォローワー20万…
その界限だと
有名なのかな…？

え…だ
大丈夫…
だよ…

♠♠♠♠
@_____
14Following

213,415Following

あ…それと
撮ったハメ撮りは
Xにもアップされる
けど大丈夫？

緊張する？
彼女を他の男に
差し出すの

じゃ
行ってくるから
待っててね

うん…

大丈夫だよな？
何か取り返し
つかないこと
になりそうな…



ただいま

あれ…？



拍子抜けしてしまうほど
いつも通りの彼女だ…
本当にやったのか…？

カップ麺食べたの？
もう少し待ったら
ご飯作ってあげたのに

あ…
うん…

それとも
あの黒人とのセックスが
あまり良くなかったのか？

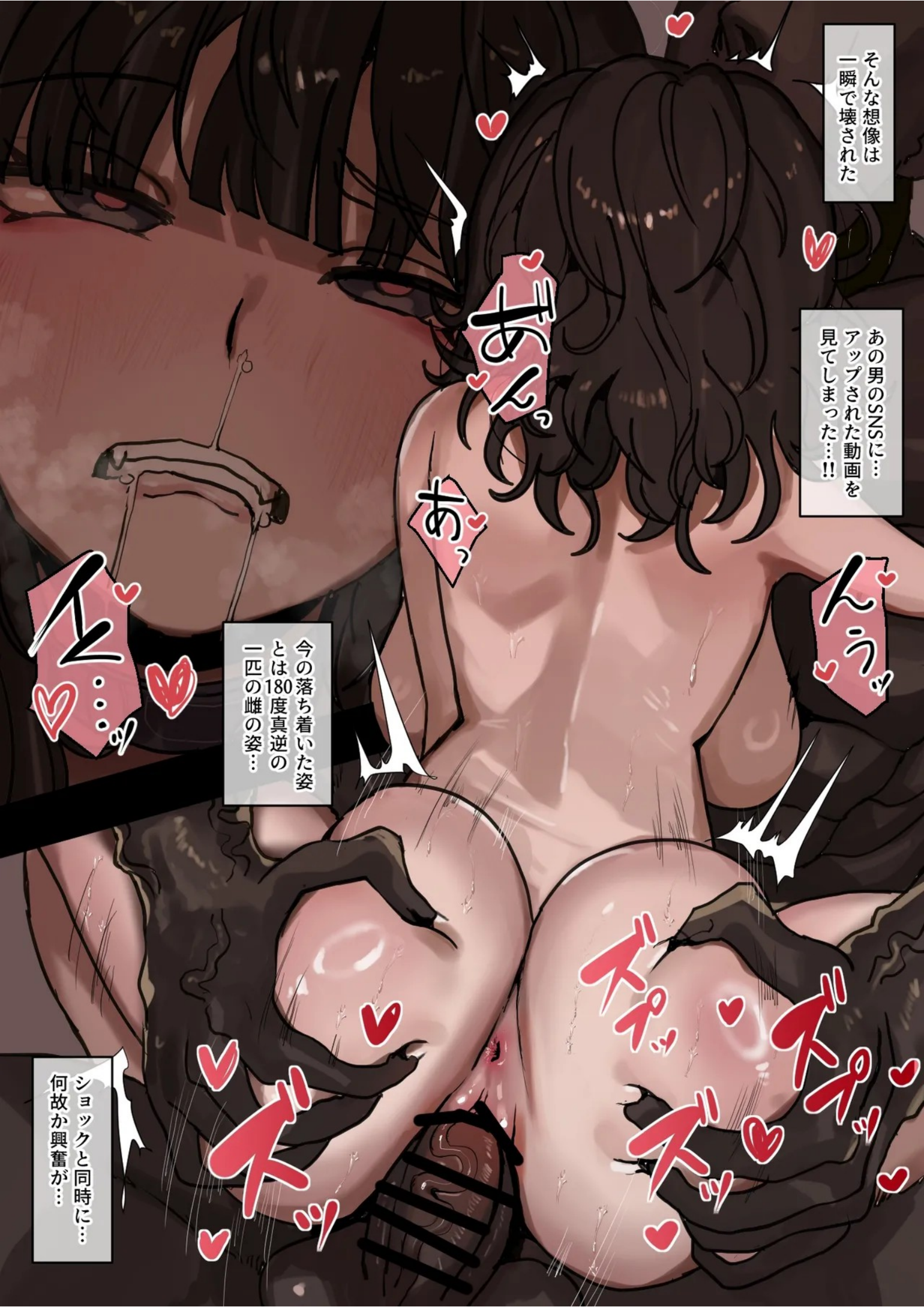
やっぱりAVや
漫画みたいには
いかないか…

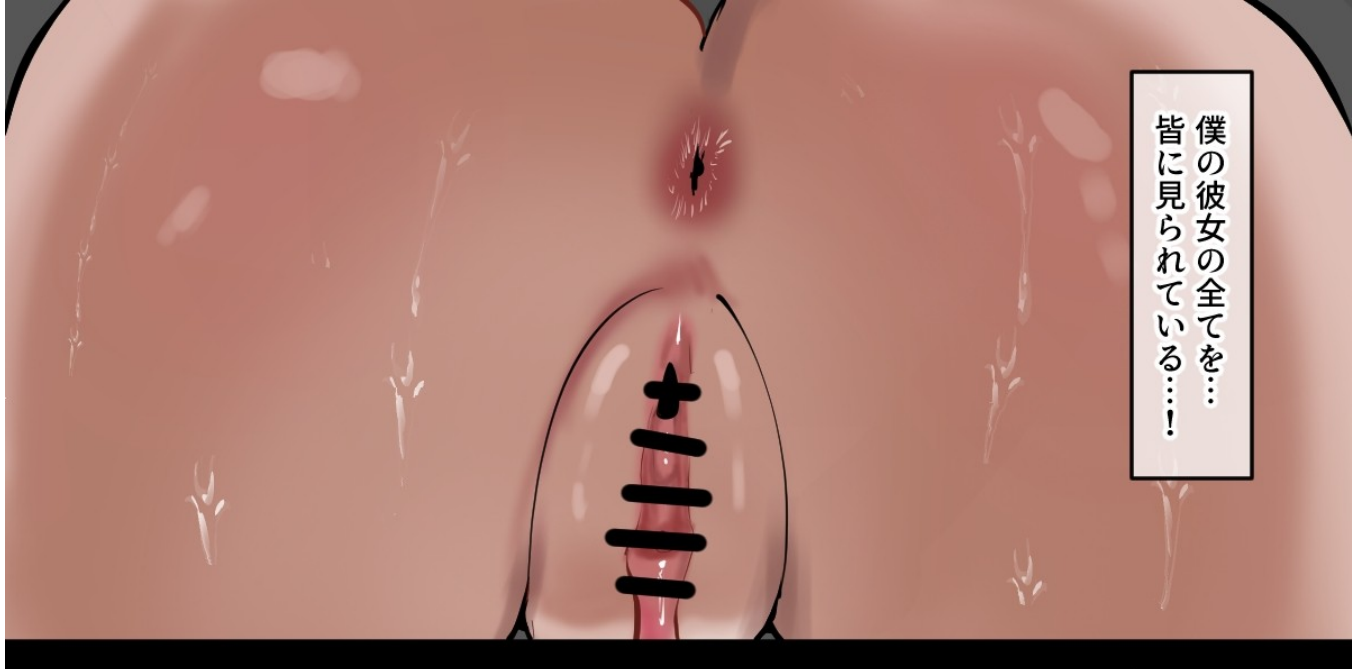
そんな想像は
一瞬で壊された

あの男のSNSに：
アップされた動画を
見てしまった：！！

今の落ち着いた姿
とは180度真逆の
一匹の雌の姿：

シヨックと同時に：
何故か興奮が：





僕の彼女の全てを…
皆に見られている…!!



♠♠♠♠

@_____

黒人に犯され
ている映像で…



💬 147

🔄 1万

♥ 5万



最高です！



今日も上半身裸で…

確かに誰とでも寝るビッチだろっな

エロすぎます

かわいいし

ビッチだな



本物のクソビッチだ

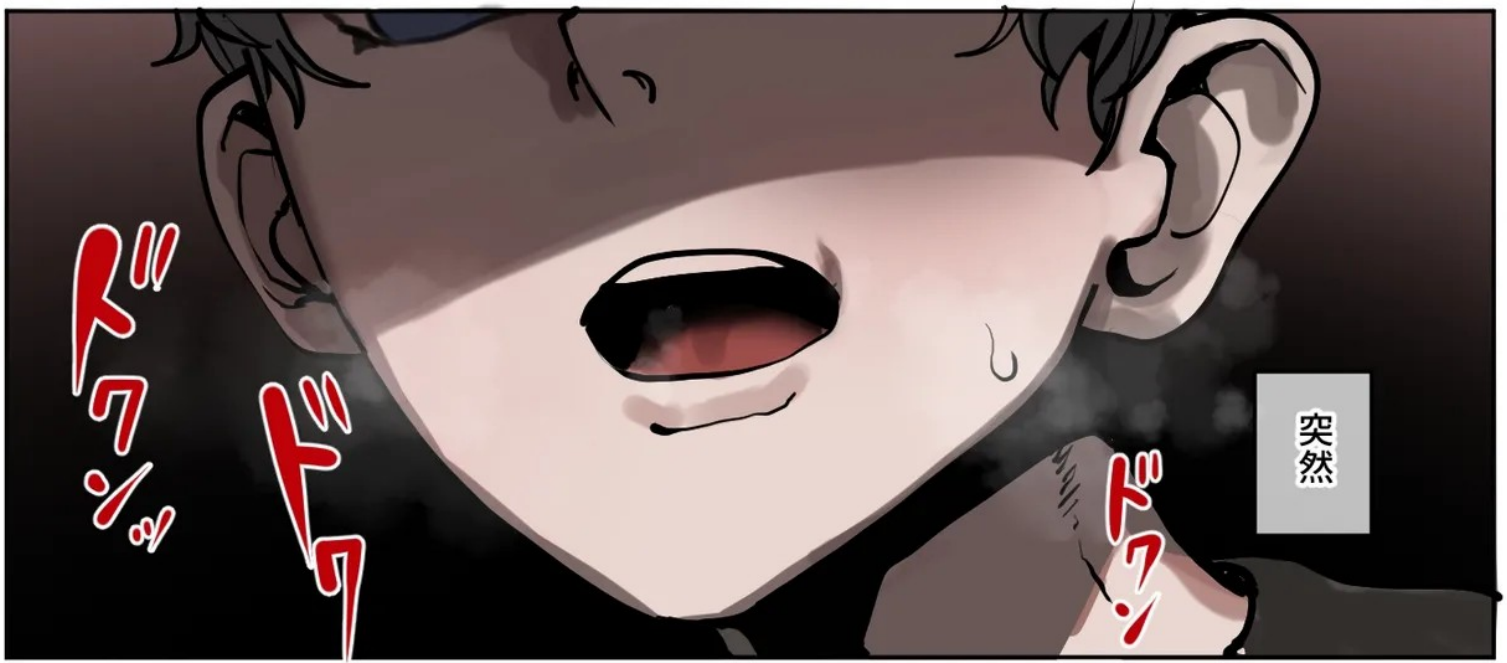
彼女が好き勝手にセクハラされ

ビッチだ淫乱だと罵られるコメント欄を見ていると

エロすぎます！

本物のクソビッチだなwww

誰とでもヤってんだろっな





翌朝

あつおはよう!
朝何にする?
トーストでも
焼こうか?



あ:いや
それは:
その:

うん?
別に責めてる
わけじゃないよ
ああいうのが
好きなんでしょ?



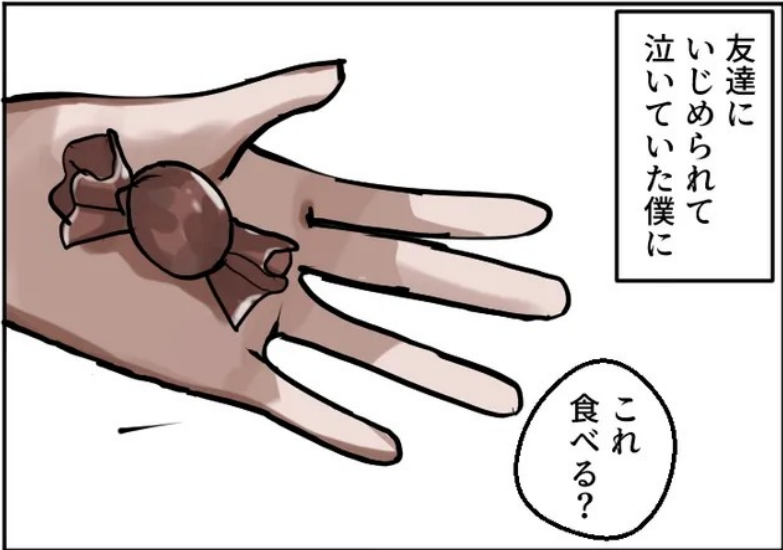
私昨夜
シヨウタ君が
あの動画で
オナニーしてるの
見ちゃったんだけど



良かった？

いや…
その…

…ねえ
私たちが初めて
会った時のこと
覚えてる？



友達に
いじめられて
泣いていた僕に

これ
食べる？



忘れるわけが
ない

…大丈夫？



あの時
飴をくれながら…
何か言葉をかけて
くれたはずだ…



彼女は手を
差し伸べてくれた

私は君の幼馴染で
彼女なんだから

いつも君のことを
想ってるのは
当たり前でしょ？

だから
心配しないで
愛してるよ

君が幸せなら
私はそれでいいの

スマイルの笑顔：
無愛想な彼女が
珍しく笑う時は
心からの言葉だ



あの笑顔が
スマイレが
僕を愛している
何よりの証だ：



今日もスマイレは
僕のために
「寝取られ」る



僕だけの彼女が…
黒人のチンコを
啜えているという
事実は

僕の後ろめたい
感情を吹き飛ばす
には十分すぎた

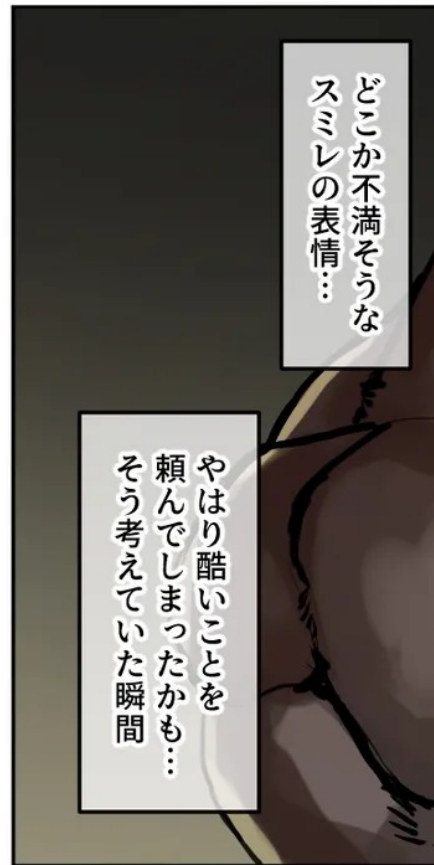
ぷぷぷ…♡



…

最初は後悔と
罪悪感でいっぱい
だったけど…

ずゅる♡
ずゅる♡



すぐに彼女は
獣のように
黒人と体を
重ねていた




彼女の体は
このセックスを
心から楽しむ…




そんな雌の
体に完全に
変わっていた



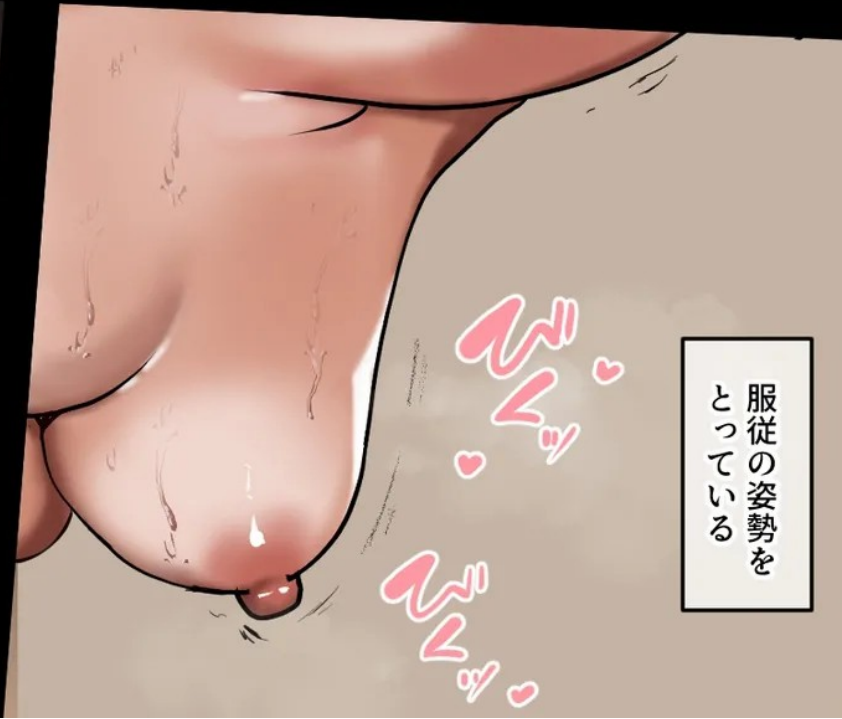


僕には
恥ずかしくて
見せてくれなかった
ところを見せつけ…

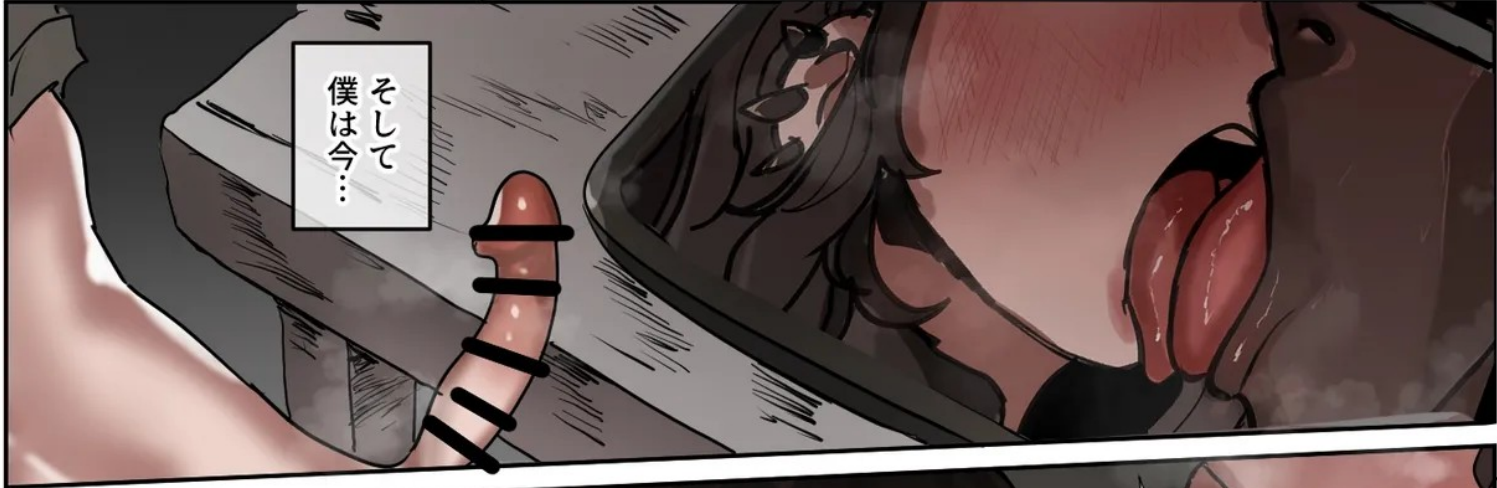
この黒人に
身も心も捧げる
奴隷にでもなった
かのように



強い雄に
屈服した
雌の表情を
浮かべながら



服従の姿勢を
とっている



そして
僕は今…



こっそりオナニー
するぐらいなら
私がしてあげた
方がいいでしょ

は〜い
ぴゅっぴゅっ
ぴゅっ

そんな動画を
見せられながら
手コキされている

うっ…

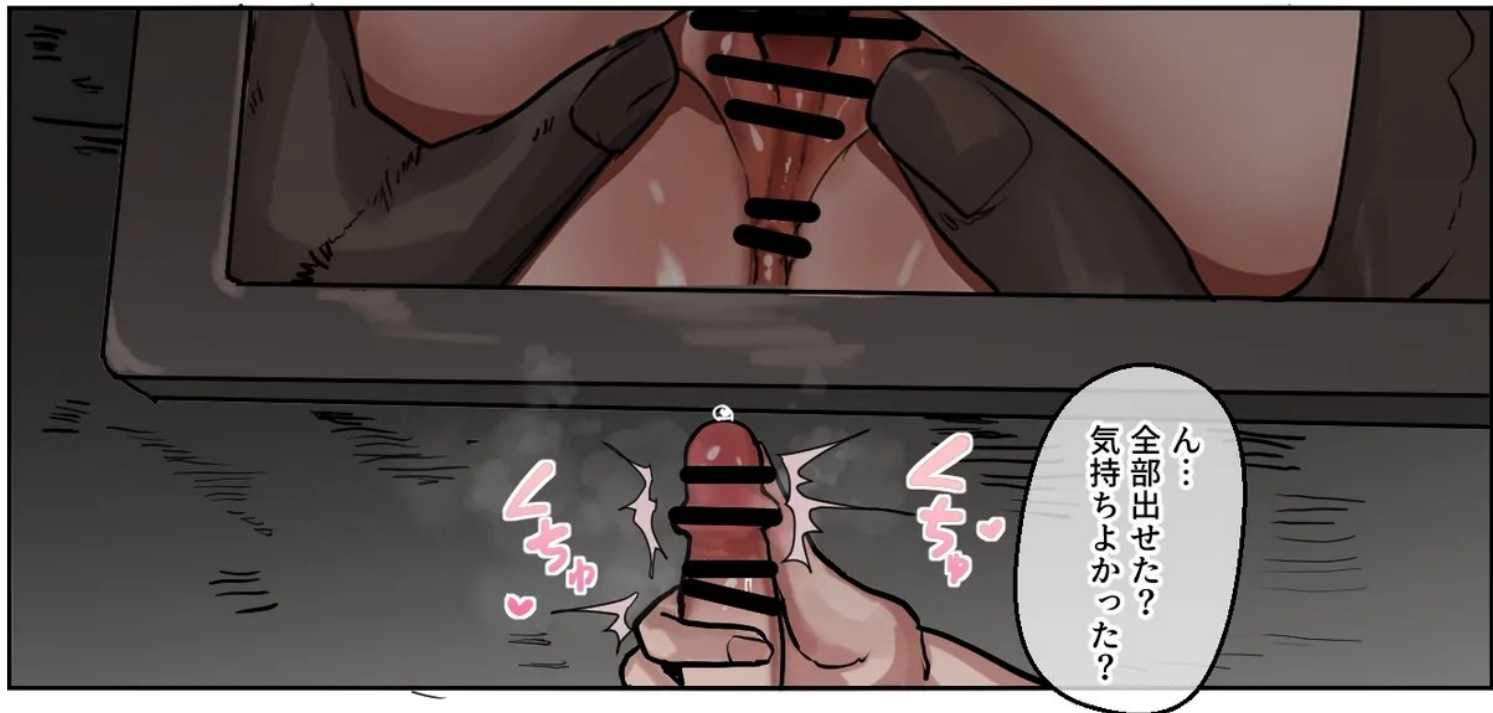
あッ



どゅっどゅっ



僕ですら
じっくり見た
ことないのに…
あんな雑に…!



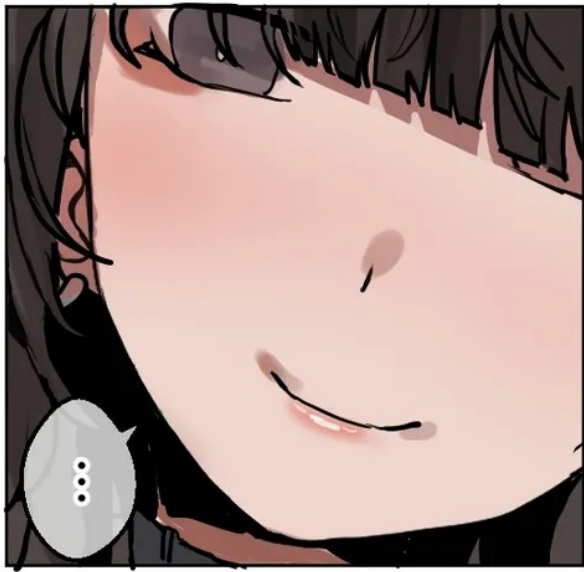
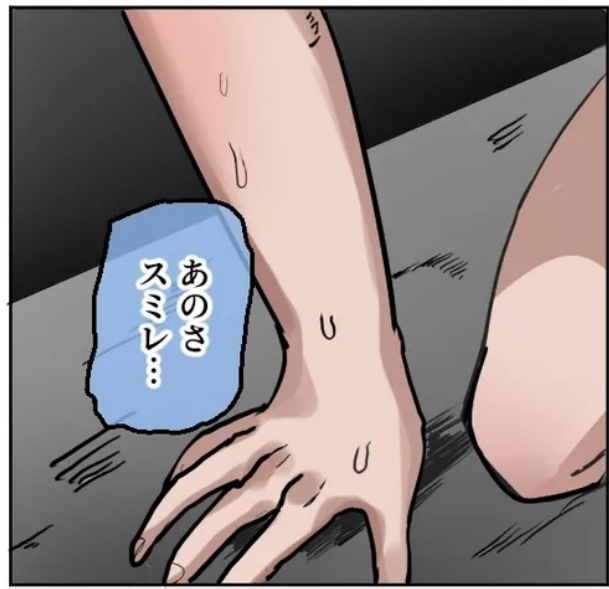
ん：
全部出せた？
気持ちよかった？



いつでも言って
もうオナニーなんて
しなくていいから



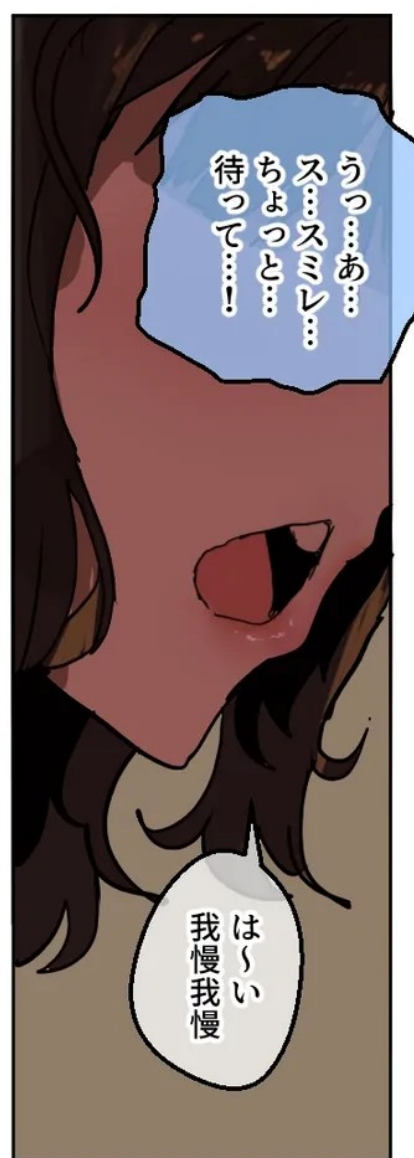
また動画見ながら
私が抜いてあげる





あああ...

ここ
こうされると
感じるんですよ？
男の人って



うっ...あ...
ス...スマレ...
ちよつと...
待って...!

は...い
我慢我慢



あっ
変なの
出てきた

やっぱり
好きなんだ

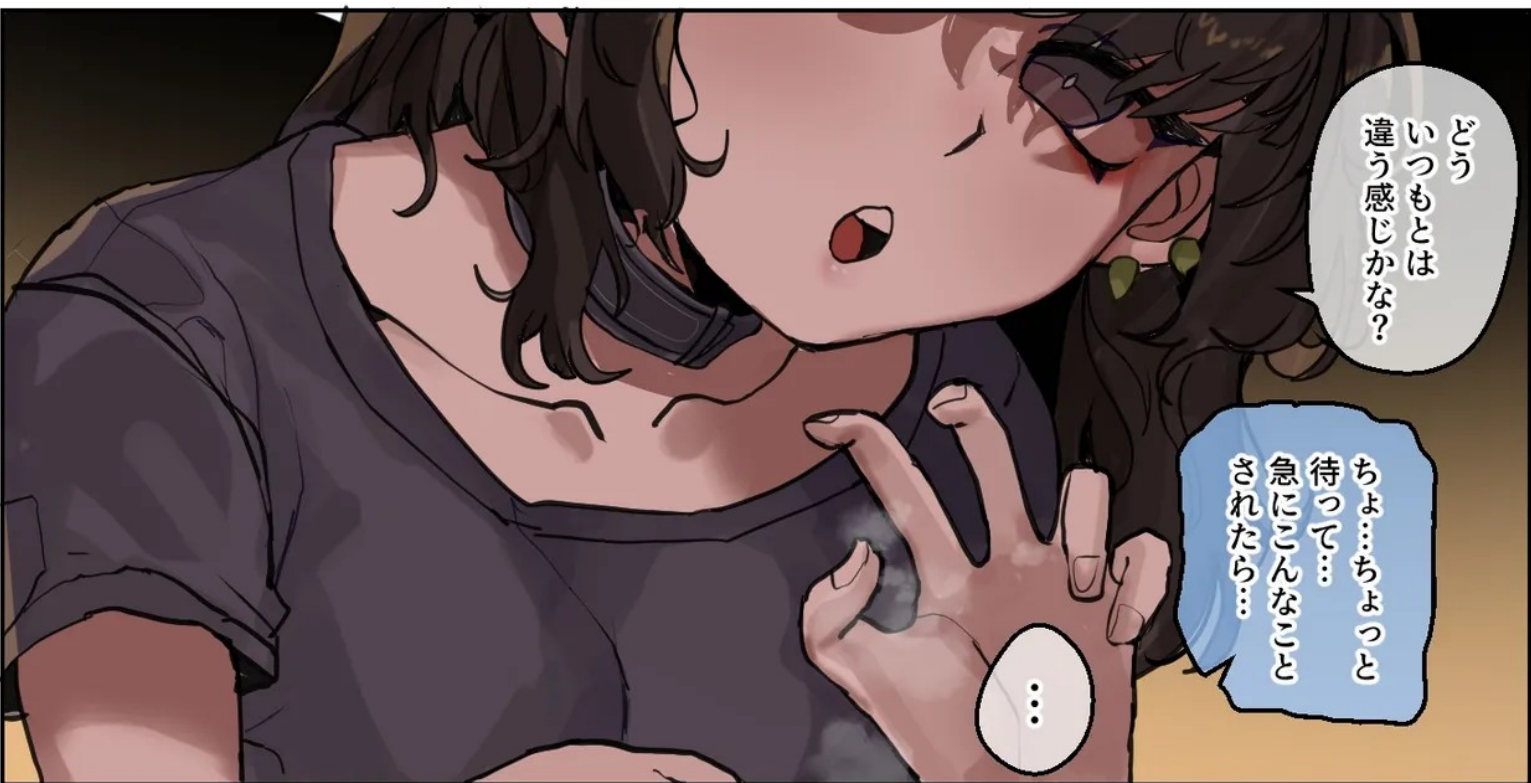
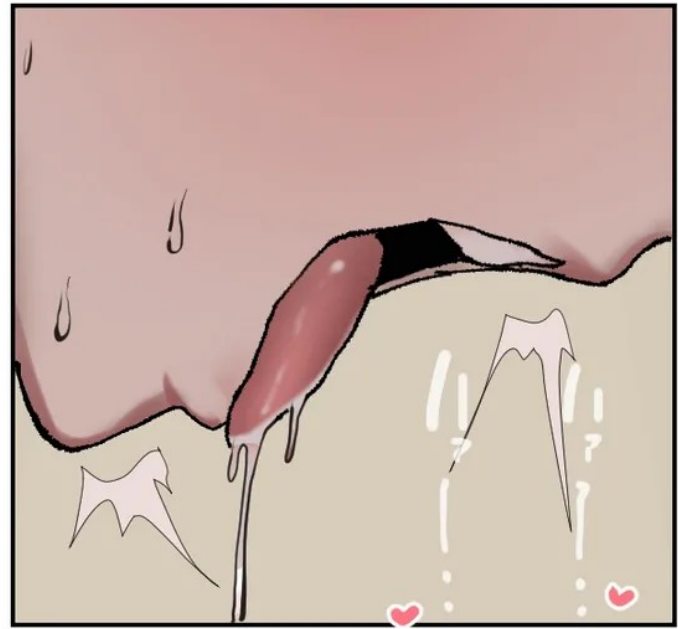
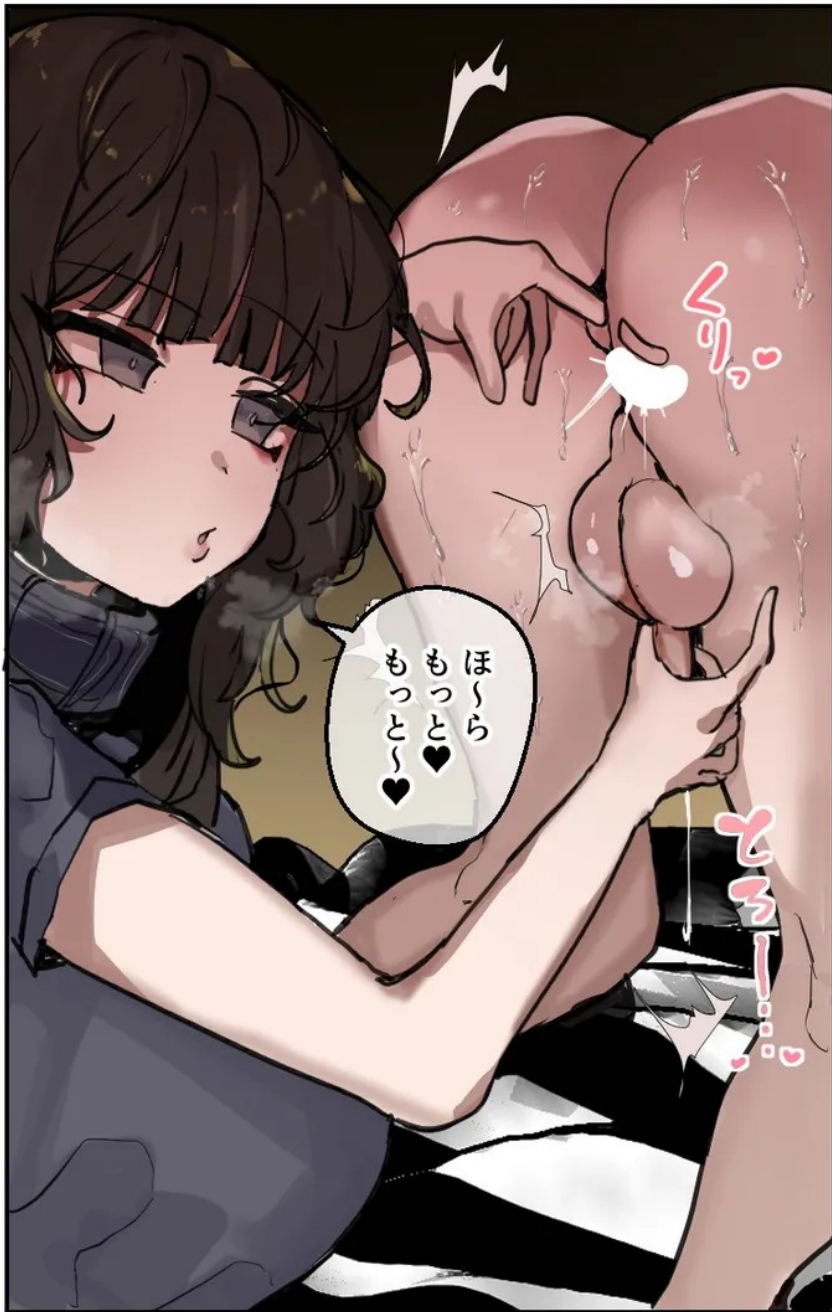


どう？
気持ち良くなってきた？



なんだか私も
楽しくなって
きちやった

あ...あ...





君も実際に
見たら
もつと…



この背徳感には
抗えない

しゅわん♡
しゅわん♡

ズッ♡

ズッ♡
ズッ♡
ズッ♡

僕より
遥かに優れた
雄に彼女を
差し出して

ぽん♡
ぽん♡

ぽん♡

見守ることしか
できないこの状況が

こんな
僕を見ながら
愛おしそうに
微笑んでくれる
彼女が

好きで好きで
たまらない



ちゃんと満足してる？

すみれ...

あッ

ズッ
ズッ
ズッ



あっ...
口に入っちゃった？
ごめんね！



一生懸命 硬くしちやって

ここは 喜んでる みたいだね

びくっ
んっ

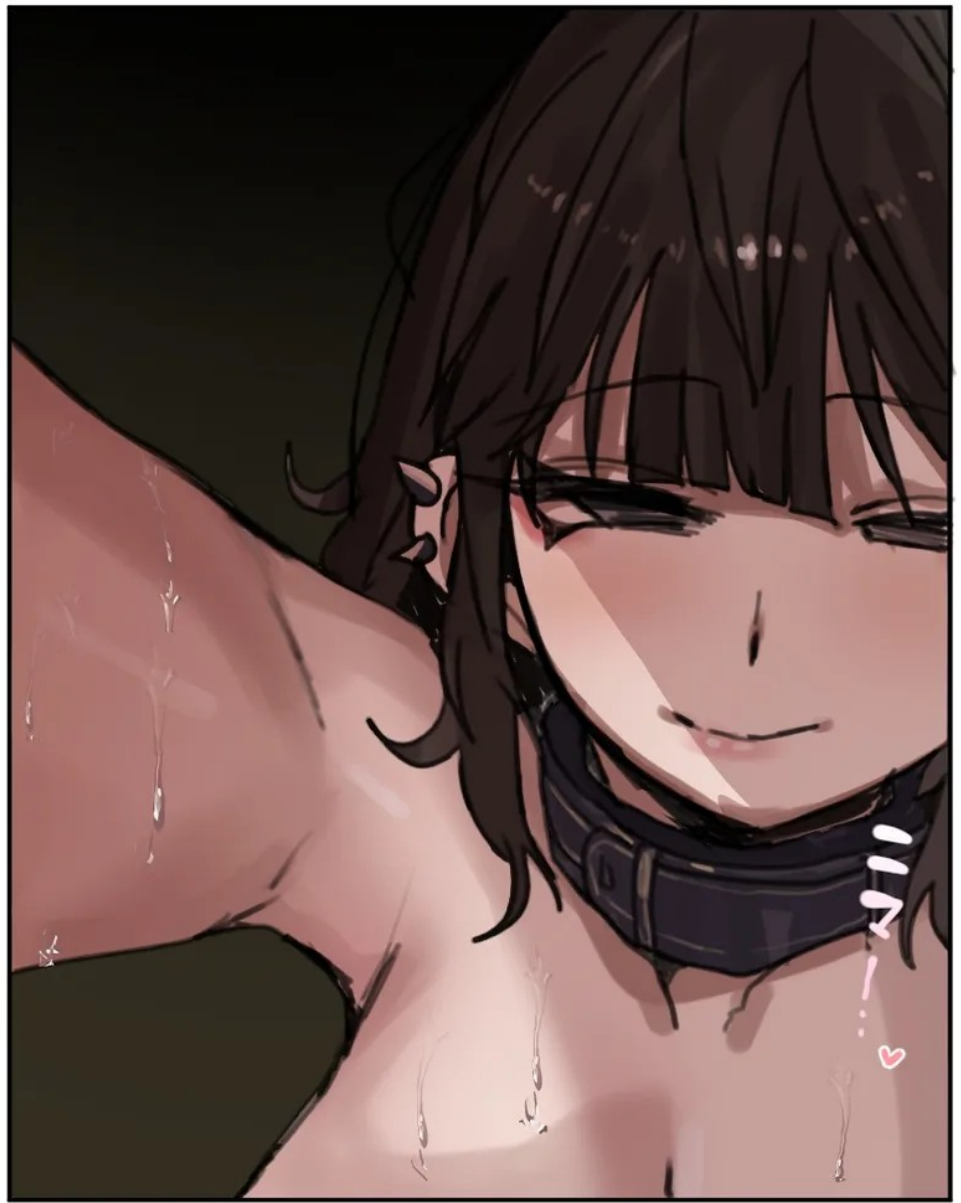
皮氏？ガチのマゾカップルじゃんw
マられカップル奴隷とが終わってる

でも...
君にはご褒美 だったかな

どろろ...

は...

は...





え？ど…
どうしたの？

あー…
えつと
彼がね

ん？

…



彼氏に
俺のペニスを
スマイレに
入れさせろ
「直接」

…だって

え…？

それは…

ほら
早く♡



彼氏として…
男として…



敗北感

屈辱感



自分の手で
「直接」
他の男に—



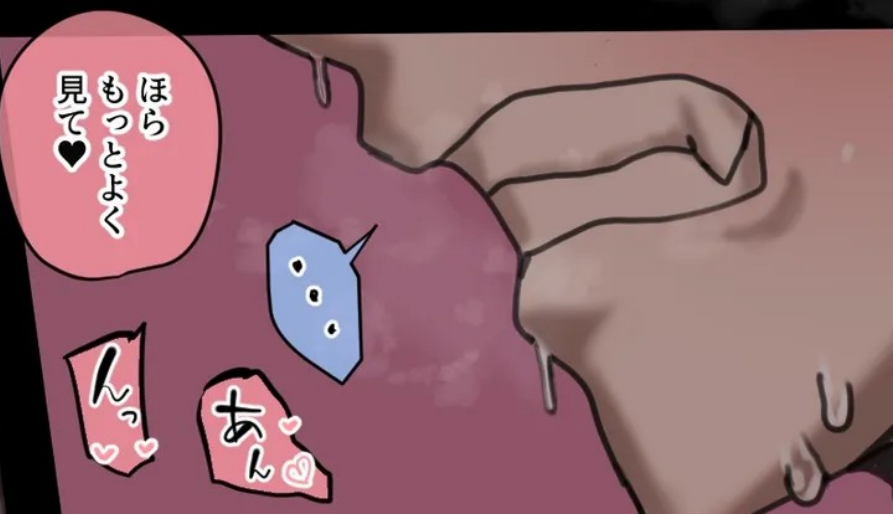
絶対に
味わっては
いけない
感情が押し
寄せてくる

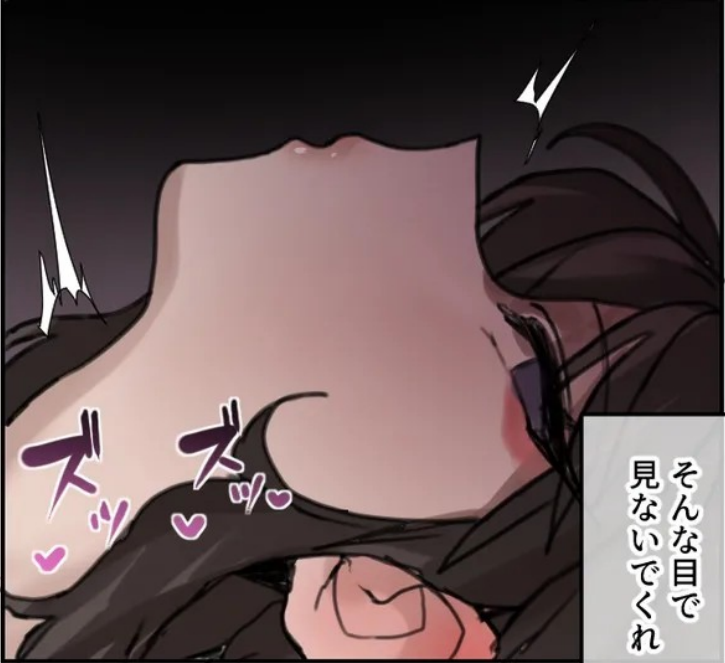
救いようのない
僕の性癖を
満たすために
彼女を差し出す



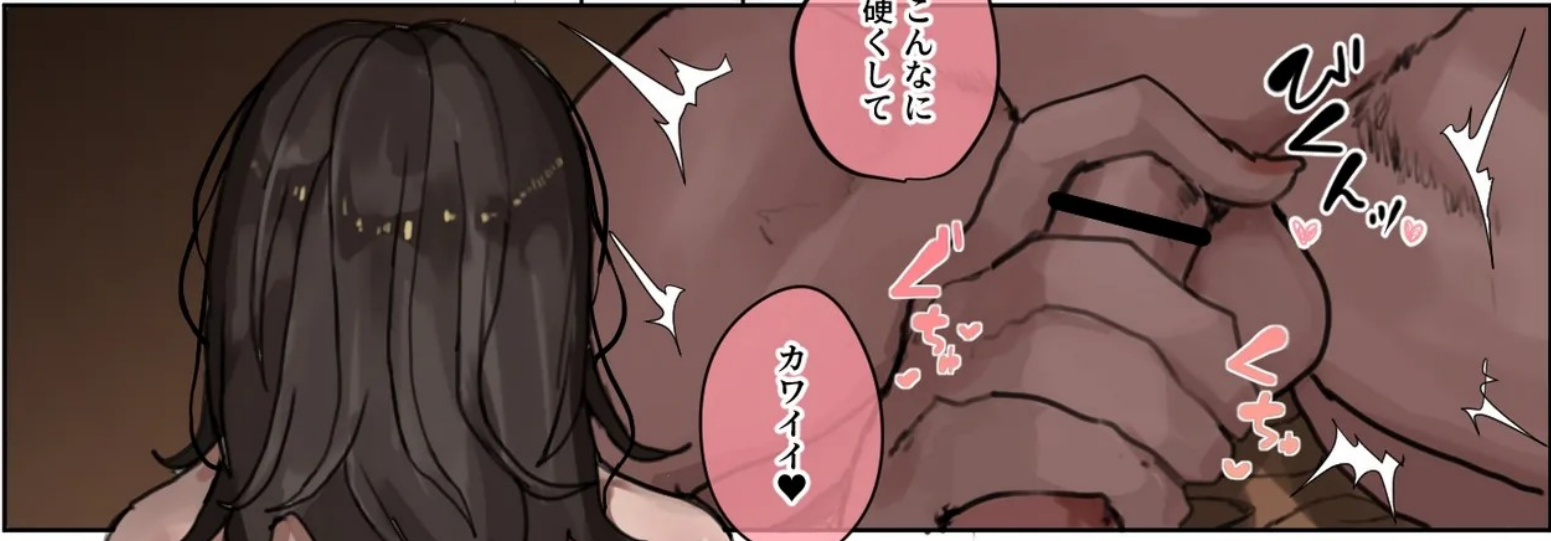
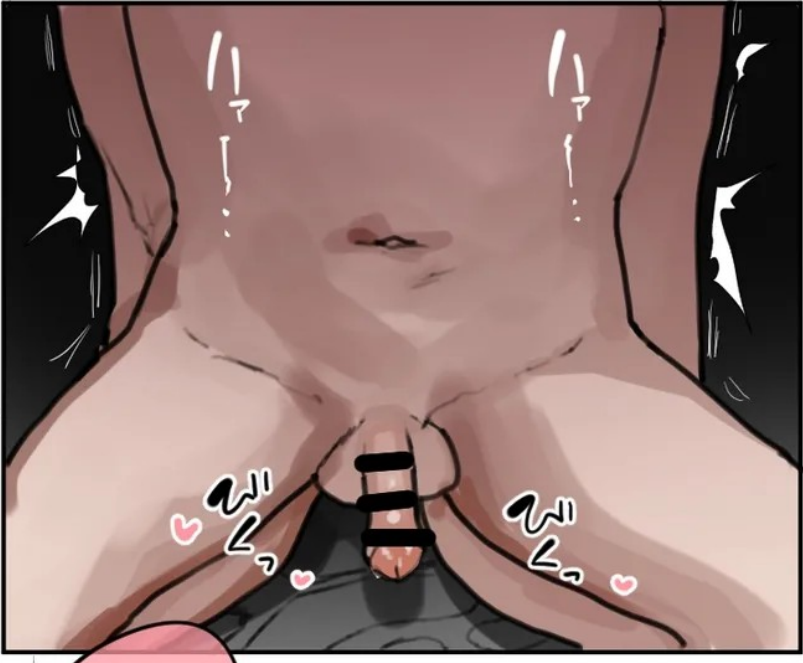
こんな
イカれた
状況でも

僕のモノは
萎える
どころか
より硬く
なっていた





そんな目で
見ないでくれ



こんなに
硬くして

カワイイ♡



私が
シゴいて
あげる



君はこれで
十分でしょ？

あのスマイレが
僕を哀れむ
ような目で…

…いや
これで
いいんだ

スマイレ…
もつと僕を
責めてくれ…

ゴミを
見るような目で
僕を見てくれ…!

ぢゅる

ぢゅる

ぢゅる

ぢゅる

ズッ

ズッ

ズッ

はっ

はっ

はっ

はっ

黒人が僕の彼女を
味わい尽くしている
と同時に

もしかしてスマイレも
この男とのセックスを
楽しんでいるのか…?
そう思ってしまった

かはっ

その瞬間

忘れていた
記憶を…

スマイレと
初めて会った時の
記憶を思い出した

これ
食べる?

泣いちゃダメ

だって私

強い男の子が
好きだから

え...??

「強い男」

あっ

んん

ここ...
好き

思い出した

確かに
あの時
スマレは

強い男が好き
そう言った



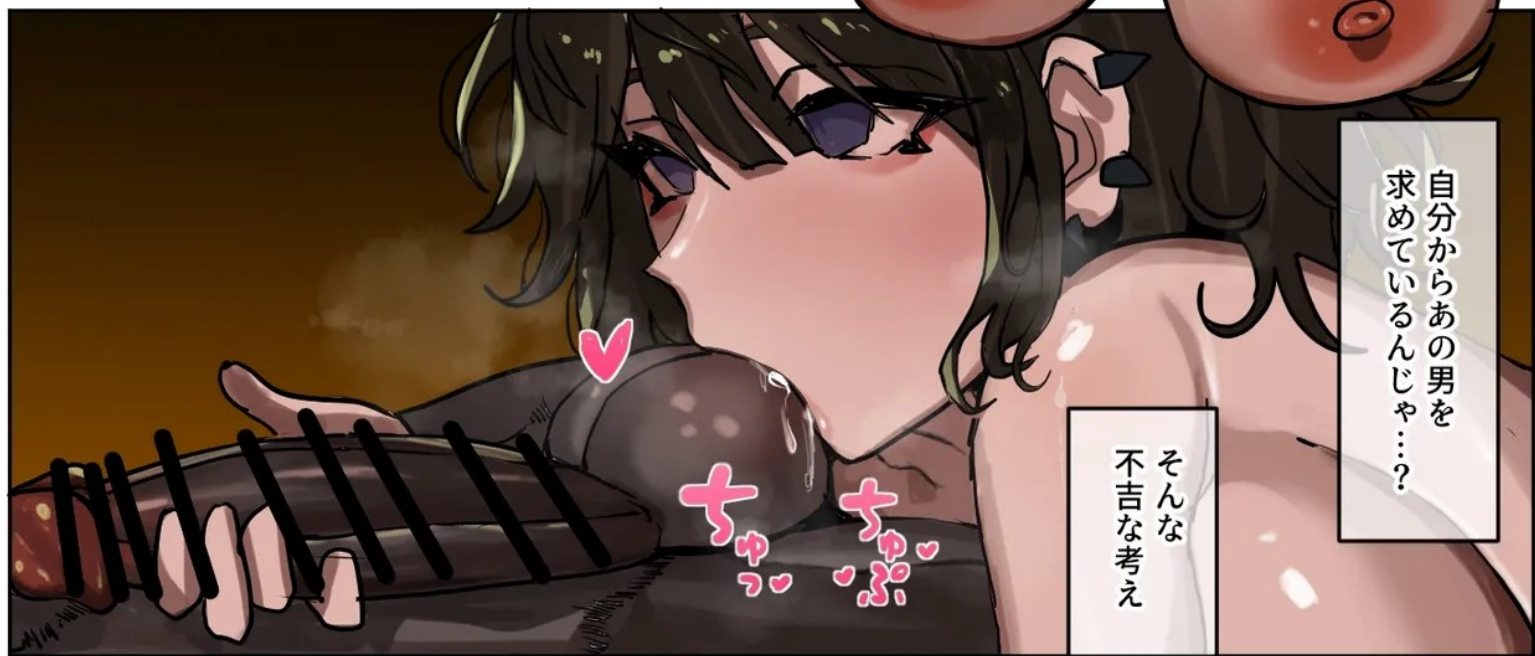


その記憶が思い浮かび
ある考えが頭をよぎった

もしかして
スマイレは…

もうすでに
僕のため
じゃなくて

はまー…



自分からあの男を
求めているんじゃないか…?

そんな
不吉な考え

ちゅっ♡
ちゅっ♡



はまー♡

君みたいなの
負け犬より
強い男が好き

無価値な
劣等遺伝子の雄は
死んだほうが
いいでしょ？

情けない
寝取られマゾ
なんかより

男らしくて
かっこいい
黒人様の方が
だ〜い好き笑

そんな風に
考えているんじゃない
だろうか？

ダメだ…
スマレは僕にとって
たった1人の…
彼女なのに



どうしたの
ショウタ君?

何かあった?



僕を撫でる温かい手
僕を気遣う優しい言葉

ただあの目は
読み取ることが
出来ない

何を
考えているのか
分からない



なぜなら
スミレは

僕よりもはるかに
格上の黒人と
セックスしている
ところだから

ズッ、ズッ、ズッ

回数も少なく
上品なスマイレが

一匹の雌として
快感を貪る姿

君じゃ永遠に
こんな男らしさは
手に入られない

平凡どころか
その遥か下の
劣った雄

もちろんスマイレは
そんなこと一言も
言っていない

だけど僕自身が
理解してしまっている

僕には絶対に
あの「男らしさ」は
手に入らない…

おっ
おっ
おっ

ふか…

おっ
おっ
おっ

パ
パ
パ

パ
パ
パ

パ
パ
パ

数日後

じよ…冗談に
なつてないよ…

最近無理なお願
いばかりしてたから
怒ってるの…?

えり?
シヨウタ君のこども
喜んでるじゃん

すり
すり

一応…
勃ってるし

ほらリップ
消えちゃってる

せっかくこんな
可愛い顔してるのに

ぬり
ぬり

ねえ…スマレ…
これどういう…

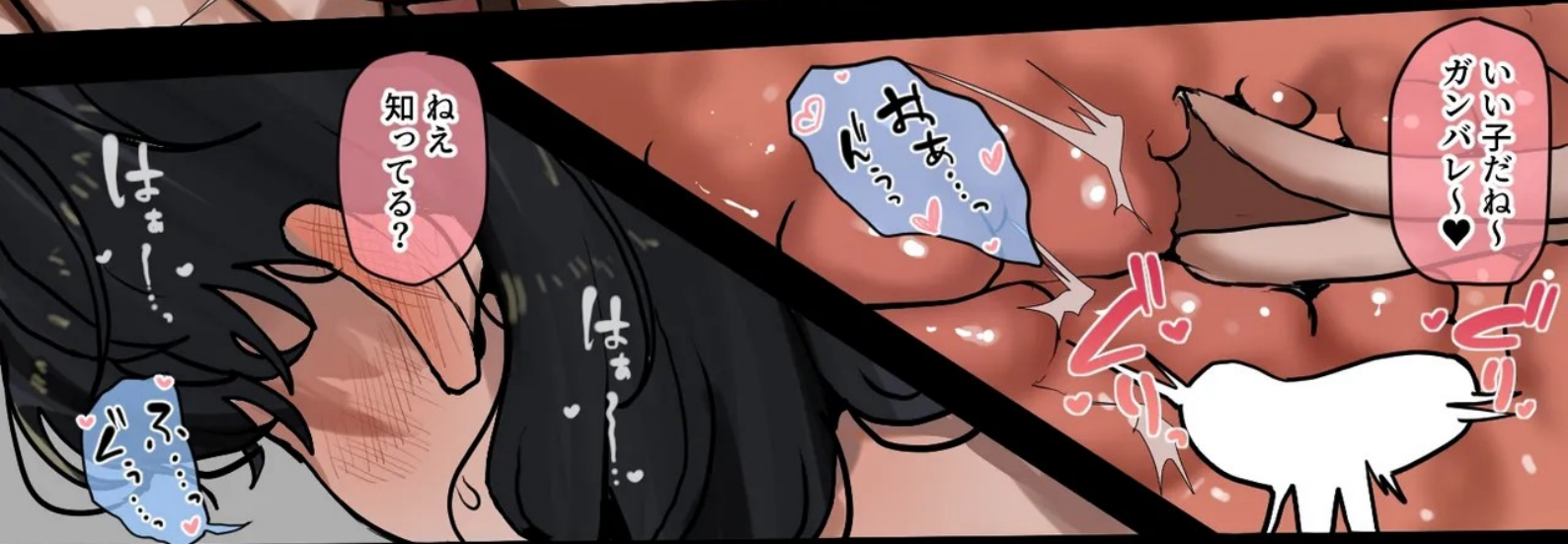
別に…
ただ似合うかな
と思つて

ウィッグも
イイ感じだね

ん
ん

ん
ん





はっい
どんどん
出しちゃお

我慢汁
スゴい…
壊れた蛇回
みたい

イイ声で鳴くね
カワイイよ
シヨウタ君

あっ！
イイこと
思いついた

お着替えして
黒人様のとこ
行こっか

どう…？
ドキドキする
でしょ？

おッ

おッ

おッ

あッ

おッ

女装して会うのは
初めてだよね
改めてどう？
新鮮でしょ？

：ねえ
髪は優しく
触って

Oh~ Okay
Sorryman~

安心していいよ
基本親切だし
：まあ
セックスの時は
荒っぽいけど

あつまた
おちんちん
硬くなった

こんな格好：
スミレの言う
「強い男」とは
真逆だ：

男らしさの
かけらもない：

黒人様の
おチンポと
比較するの
何度やっても
飽きないよね

でもまあ…
いくら比べて
みても…
やっぱり
すごい格差

シヨウタ君
もう男の子
やめちゃえば？

…なんてね
冗談だよ

もう、
待ちきれ
ないからって
凶悪なおチンポ
押しつけないでよ

フエラ
してあげる

本当に冗談
なのか…？

スマレは
いつも無愛想で
つまらない冗談
ばかり言うけど…

実はもうこの男の
チンコの虜なのに
僕を気遣って
演じてくれている
だけなんじゃ…

愛らしい顔で
強いオスの
チンコを
しゃぶる姿

妙な違和感が
僕を襲う
あの時スマレが
僕に言った言葉が
何度も頭によぎる

むに、

むに

ぢが
ぢが
ぢが

ぢが
ぢが
ぢが

私は強い男が好き...

私は強い男が好き...!!

僕の上でまるでおもちゃみたいにチンコを足で弄ぶ...

ようやく確信した

スマレは僕を男として見ていない...

じゃないと彼氏に女装なんてさせないだろ...?

ああ...もうスマレは僕を愛してないんだ...

寝取らせなんてしたから...スマレは僕を...

れろれろ

ぬふぬふ

ぐちゃぐちゃ

どろどろ

んんん

は...は...は...





クス…

ねえ
シヨウタ君
知ってた？

君って昔から
考えてることが
すぐに顔に出るの

…不安？

もう私に
「愛され」
ないんじゃない
なかった？



大丈夫だよ

子供の時の
言葉なんて
忘れて

私はちゃんと
君のこと
愛してるから

ほら
いい子
いい子

私たちの
シヨウタ君なら
分かってくれる
でしょ？

…忘れろって…

そ…そうだ
これでいいんだ

お！

お！

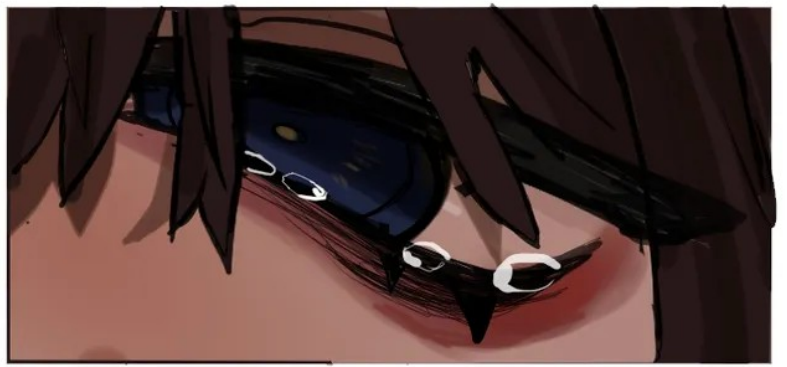
お！

スマレとの
幸せな未来だけを
考えるんだ

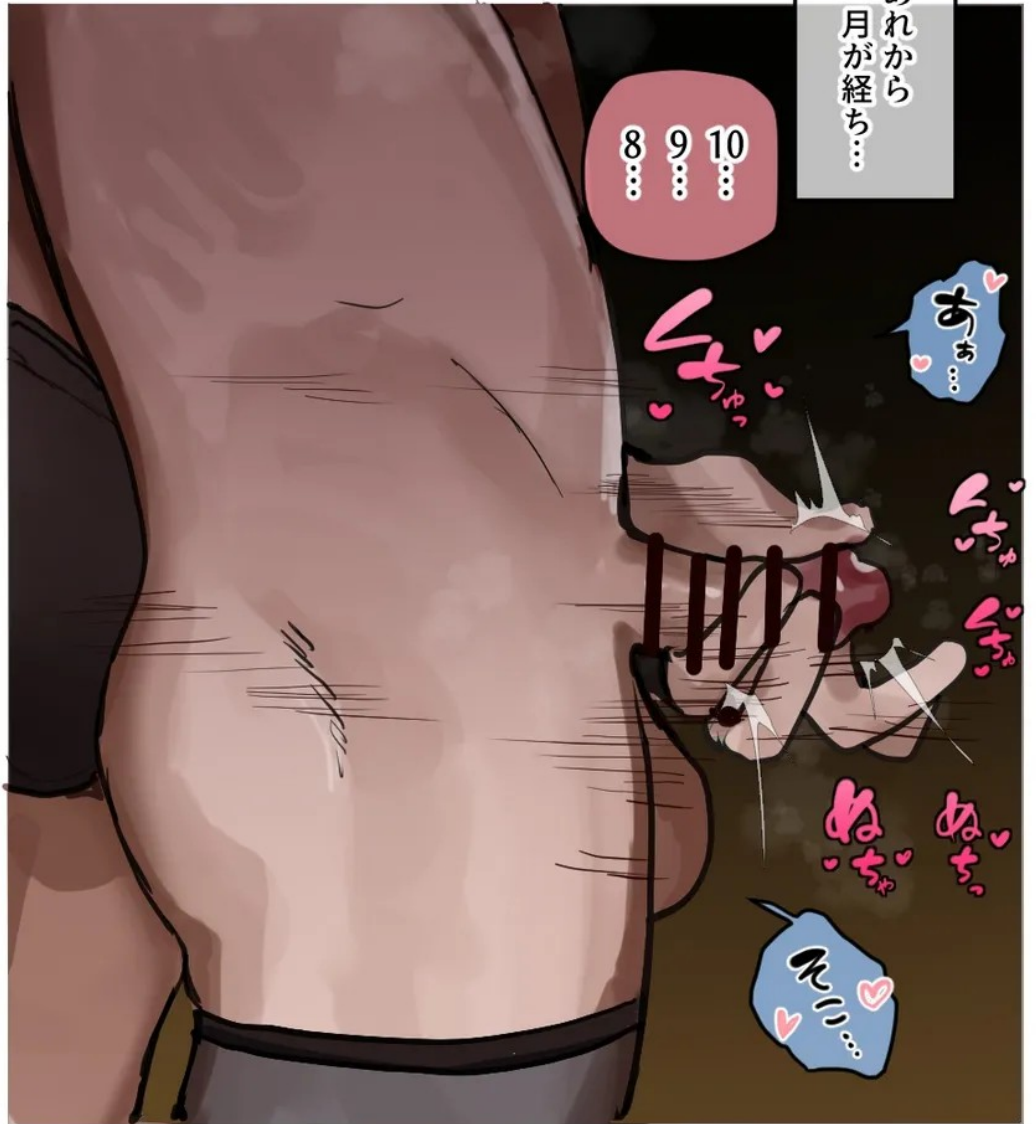
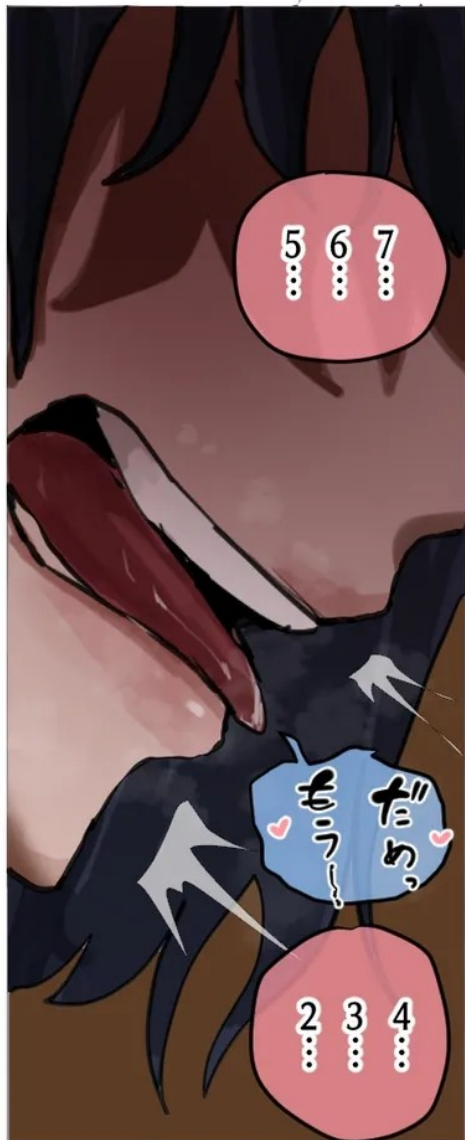
たとえ今は
黒人様のチンコに
貫かれていても…

僕もスマレも
お互い
愛し合ってる
いるんだから

幸せなんだ…!!



あれから
一月が経ち...



ただ快感に
溺れるだけの
爛れた日々を
送っている

1!

シヨウタ君の
おちんちんが
どんどん
役立たずに
なっつていつて
ると思うと…

すっごく
嬉しいん
だよ

おめでとう

君も嬉しい
でしょ?

新記録達成♥
10秒でイけたね

そんな粗チン
なんかより
私のこと
気持ち良くして
くれるのもあるし

僕の体は
彼女の調教に
よって完全に
作り変えられて
しまった

はまはま

アへ顔エロすぎWWW

こんな粗チンでも
彼女いるのに俺は…

彼女に調教される
こいつ終わってる

こんなヤリマン
どこでゲトるんだ

うん…
やっぱり私
変な顔に
なってる…

ご主人様のチンポが
スゴすぎるから
こればかりはな

でも皆
この顔好きって
言ってくれるし
正直複雑…

シヨウタ君は
どう思う？

…なんて
返事する
余裕ないか
あゝあゝ
ご主人様
まだかな？

ぽん

ぽん
ぽん

ぽん

ぽん

ぽん

あま



「狂ってる」と
「人生終了だ」と

今の僕を見れば
誰もがそう思う
だろう

だけど僕は

これ以上ない
幸せを
噛みしめている

敗北感にまみれた
劣等の雄として
生きていける

あ…
噂をすれば

こんな僕を
愛してくれる
スマイレと共に



元の生活には戻れない

はは…

は…



僕は絶対に

スマイレは無愛想で
何を考えているのか
分からない

スマイレの本心は
僕には知る由もない

4周年記念!
大好きだよ!

だけどそれでもいい
たとえスマイレの心が
僕のものだろうと
すでにご主人様に
奪われていようと

今の僕が
幸せだという事実は
変わらないんだから

5周年記念!
愛してるよ!

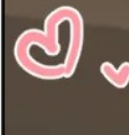
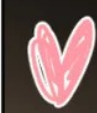
あん♡

んっ♡
そっ♡
だめ♡

お♡

い♡

い♡



僕の彼女は
他の男と
セックスする

浮気…？

いや…
これは全て
僕が望んだことだ

ぢゅぽ
ぢゅぽ

ぢゅぽ
ぢゅぽ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ

ズッ

私はご主人様とのセックス楽しんでるのに…

シヨウタ君は
見てるだけ…
しかも精液まで
飲まされて…
かわいいそう♡

どう？
美味しい？

ほら

これも
あげるね

あ…

ありがとう…!!!

ぽたぽた

ぽたぽた

愛する彼女は
黒人のチンコに
キスをして

ちゅっ♡
ちゅっ♡
ちゅっ♡

彼氏である僕は
二人が使うゴムや
ご主人様の灰皿を
準備して奉仕する

ぬっ♡
ぬっ♡
ぬっ♡

ぬっ♡
ぬっ♡
ぬっ♡

そんな僕に

愛してる

ギュー

彼女は「愛してる」と言ってくれる